

1 実りの秋

令和4年度「蒼穹祭」、コロナによる制約下ではありましたが、それぞれの普段の取組が随所に発揮され、科学技術高校らしい文化祭でした。また、御来場くださいましたご家族、PTA、御来賓、そして中学生のみなさんに、本校生徒たちの生き生きとした姿をご覧いただき感謝申し上げます。

さて、秋が深まってきました。『実りの秋』、これまで積み上げてきた努力の成果が徐々にあらわれてくる頃です。いきなり大きなことを成し遂げようと意気込まずとも、まずはすぐ実行できる小さなことから始めて、コツコツと積み上げていきましょう。何度も繰り返しますが、まさに『微差は、大差』です。



2 「成果が出ないのには理由がある」

前回の「校長だより」で掲載させていただいた本の続きを紹介したいと思います。

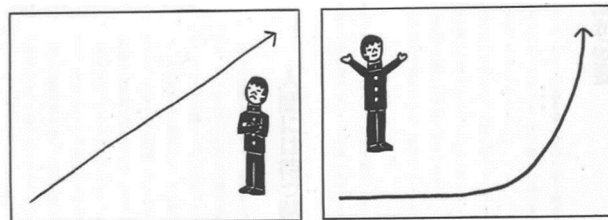
なぜ途中で諦めてしまうのか。

いちばんの理由は、達成感がないから。いいかえると、成果が出ないから。そうなんですけれど、ここに大きな勘違いがひそんでいます。成果というのは、比例関係にはないんです。どういうことか。説明しましょう。

目標を立ててそれに向けた行動が始まっても、では10日やってみたのと比べて100日やったほうが10倍の成果が出るかっていうと、そうはなりませんよね。つまり、左の図のように直線的な比例のようにはいかないんです。それなのに、なぜか、努力と時間に比例して結果がついてくると思い込んでしまう人が多い。そう思い込んでいたら、「こんなに頑張っているのに、なぜ？」ってなるのは当たり前です。そもそも世に中の現象ってそんなに単純にいくものなんて少ないんです。教科書に毒されすぎなのかもしれません。これもバカのこじれた例ですが。

では、成果はどのようにあらわれるか。右の図を見てください。こういうパターンが多いんです。しばらくずーっと底辺あたりを進んでいって、あるとき突然ぐーっと上がるパターンです。要するに、人生における達成というものは、だいたいの場合、突然やってくるのです。低空飛行が続いて、急にポーンと舞い上がる。そういうことが多いんですよ。だから、それを知らずに、途中で、その瞬間が来る前に諦めちゃうと、元も子もないというか、すべてが水の泡になってしまう。確かに苦しみますよ。いつ急激に上がるかは、そうなる前には見えていないんですから。もしかしたら、来ないかな、そう思ってしまう。ただ、そこで諦めると、やっぱりアタマはよくなるらないんですね。ちなみにこの急上昇のグラフ、横軸が時間の場合もありますが、そうではなくて、商品の名前だと思ってみてください。そして縦軸が売れた数。本の場合だと、あまり売れない本が大部分(左の低い部分)で、数冊だけベストセラーがあるわけです(右の急上昇の部分)。

こういうグラフを「ロングテール」と呼びます。左の低い部分が恐竜の尻尾で、右の急上昇の部分を恐竜のアタマに見立てているんですね。世の中の多くの現象は、単純な比例ではなく、この恐竜型のロングテールのグラフになります。成果が出るのって、たいへんなことなんです。



(竹内薫著『自分はバカかもしれないと思ったときに読む本』から)